



あいさつ日本一を目指して(宇和中)

特集

特集「伊方原発を考える」 12

基金残高底をつく 定例会 ②

地域住民の足の確保を 常任委員会 ④

視察報告 特別委員会 ⑦

津波・原発・防災計画は 一般質問 ⑧

自由発言 ⑮

第29号  
6月  
定例会  
2011

2011.7.20発行



自主防災訓練(卯之町地区)

西予議会だより 第29号 <http://www.city.seiyo.ehime.jp/gikai.html>

E-mail [gikaijimu@city.seiyo.ehime.jp](mailto:gikaijimu@city.seiyo.ehime.jp)



どろんこ祭り(土居地区)

三嶋神社の“おんだ祭り”は、兼近村(現在宇和島市三間町)で行われていた御田植祭りが兼近村から土居村に養子に来た高月兵太郎さんによって伝えられ、明治15年前後から始まったものです。地域の人々の心身をいやす楽しい行事として代々伝承されてきています。



実盛送り(田穂・魚成地区)

実盛送りの行事は、五穀豊穰、害虫退散を祈願する「虫送り」の行事であります。齊藤別当実盛は稲株に足を奪われ不覚の最後を遂げた。“すべて運か(ウンカ)死して稲株の守護神とならん”と誓ったと伝えられています。

伝統・文化を次世代へ(城川編)



編集委員  
委員長 明智 祥勝  
副委員長 兵頭 一朗  
委員 松宮 孝志  
元親 孝志  
沖野 健三  
岡山 清秋  
酒井 宇之吉



編集委員の新メンバーです。市民のみなさんにより近い議会だよりを目指します。ご意見をお聞かせ下さい。

編集後記

# 国民健康保険特別会計

# 基金残高

◆ ◆ 6月定例 ◆ ◆

# 底をつく

6月定例会は、6月9日から24日までの16日間の会期で、議案12件、報告5件が上程されました。下記に示す主な補正予算の他、市道石城地区209号線用地取得費の計上、公共下水道野村浄化センター第3系、宇和浄化センター第2系の工事委託基本協定の締結、辺地に係る公共的施設総合整備計画の変更などがあります。

特別会計及び公営企業会計補正予算の主なものは職員の異動に伴う人件費の減額補正です。西予市国民健康保険特別会計では、現在の基金積立額が、約170万円に減っていることが懸念されており、西予市国民健康保険特別会計の事業額は6月補正で約58億円で、突発的なインフルエンザ等に対応するため、基金は保険給付費の5%(2億円程度)以上は確保したいところです。

## 6月一般会計の主な補正予算

### ■ 総務費 ■

□総務課庶務事業 2,110千円  
東日本大震災の被災地へ、職員を派遣するための旅費を計上

□えひめ愛顔の助け合い基金事業 2,249千円  
愛媛県市長会を通じて、愛媛県が設置した「愛媛県東日本大震災被災者等支援基金」に寄付金を支出する

□庁舎建設事業 10,965千円  
保健センター改修後の備品購入費及びモニュメント設置等に係る経費を計上

### ■ 民生費 ■

□社会福祉庶務事業 1,057千円  
東日本大震災の被災地へ、市民ボランティアを派遣するための経費を計上

□介護基盤緊急整備等事業 9,396千円  
認知者高齢者グループホームの行うスプリンクラー設備整備に対し補助金を交付するもの。対象は、宇和1施設、城川1施設

□園児送迎事業 4,069千円  
歳貫保育園の休園により、園児を三瓶保育園に送迎するために必要な、自動車購入費、運行委託料を計上するもの

### ■ 労働費 ■

□自然資源活用型集落営農活性化事業 14,516千円  
求職者に緊急的・一時的つなぎ就労の機会を提供する事業。明浜・城川に2名づつ雇用する

### ■ 農林水産業費 ■

□農村環境保全向上活動支援事業 21,473千円  
農地・水・環境保全向上対策事業等において農業施設長寿命化の活動に取り組む集落等に対し、新たに向上活動支援交付金を交付するための経費を計上

□森林そ生緊急対策事業 83,250千円  
林内路網整備に係る経費。中核作業道：野村1路線  
基幹作業道：城川4、宇和1、野村1路線

### ■ 商工費 ■

□商工観光諸施設維持管理事業 2,920千円  
平成24年度の宇和島圏域観光振興イベントに向け、重伝建保存地区「卯之町の町並み」の案内看板を設置する経費



中核作業道施工状況

## 国民健康保険特別会計補正予算

- 診療所勘定
  - 依津診療所 増減無し  
医師の退職に伴う職員給与費の減額及び非常勤医師賃金で相殺
  - 高山診療所 Δ1,145千円  
人事異動による職員給与費の減額
  - 惣川診療所 515千円  
惣川診療所改築工事にかかる設計監理委託料の計上

## 後期高齢者医療特別会計補正予算

- 人事異動に伴う職員給与費の減額 Δ6,760千円

## 介護保険特別会計補正予算

- 人事異動に伴う職員給与費の減額と調査費事業費の増額 Δ22,882千円

## 農業集落排水事業特別会計補正予算

- 人事異動に伴う職員給与費の減額 Δ3,677千円

## 公共下水道事業特別会計補正予算

- 人事異動に伴う職員給与費の減額と宇和处理区の事業費減額 Δ214,209千円

## 上水道事業特別会計補正予算

- 人事異動に伴う職員給与費の増額と企業債繰上償還元金増額 15,603千円

## 病院事業会計補正予算

- 収益的収入 1,167千円
- 収益的支出 2,075千円
- 資本的収入 17,567千円
- 資本的支出 20,447千円



山本議長と浅野副議長

## 新議長抱負を語る

地域主権が進む現在、議会の政策提言機能を強化する必要があります。二元代表制のもとで、承認ありきではなくチェック機能を発揮できる議会となるべきです。その原点は市民の皆さんの声を聞くことです。そのためには、市民の皆さんと膝を突き合わせて話をさせて頂きたいと考えます。一般質問の一問一答方式、委員会のケーブルテレビ放映、議会基本条例等議会改革を進めたいと考えます。また、子供議会の開催も検討します。

# 地域住民の足の確保を 総務委員会

審査の過程で委員からの質疑は以下のとおりです。

## 総合整備計画

辺地に係る公共的施設総合整備計画の変更の経緯は

遊子谷・川津南・嘉喜尾・西の4地区の総合整備計画を見直すもので、これまで補助事業の申請をしていた事業に、国の補助が確定したことなどにより総合整備計画を変更します。

が補正されていますが、今はさらに増加する可能性が高いと思われます。

開明太鼓グループや皆江の自主防災会への補助対象の内容は



宇和病院行き生活福祉バス

開明太鼓グループには練習用の太鼓10台程度、皆江の自主防災会にはトランシーバーや発電機等の防災用品を予定しています。

ス確保やデマンドタクシー運行に取り組み、今年度中には実施計画を策定するためです。

## 機能別消防団の現状は

実際にはまだ入団者はなく、過去の団員経験者などにより、入団に向けた動きがある状況です。

## 補正予算 東日本大震災の職員派遣の内容は

現在のところは7泊8日で12名の派遣分の旅費

生活交通バス対策事業が減額となっているのは当初予定していた国の制度が廃止となり、新たに5年計画で生活路線バ

# 国保会計抜本的改革を 厚生委員会

## 補正予算

蔵貫保育園の休園に至る経緯は

入園希望者が6名といった状況を踏まえ、3月11日に保護者会が市へ要望書を提出。

後日、保護者会と懇談を行った結果、送迎があれば三瓶保育園に行ってもかまわない旨の申し合わせが行われ、住民への説明会において承認を得たことにより4月1日から休園となりました。

東日本大震災に係るボランティア派遣事業の内容は

ボランティア10名分の費用弁償及び食糧費の他、同行職員の旅費とバスの借り上げ料が主なもので



休園になった蔵貫保育園

野村クリーンセンターのトラックスケール修繕費は本来、当初予算対応ではないのか

急な故障のため、必要に迫られた修繕の補正です。

## 特別会計

俵津診療所の医師及び職員現在の状況は

今年度も従来通りの運営を予定していたところ、4月1日に那須医師より6月末をもって退職したい旨の届けが提出され、市内医療機関からの出張診療を検討したが調整がつかないため、24年度から当該施設の貸与を計画している松山市の医療法人(民間)を訪問の折、今年度の医師派遣についても打診したところ、週3回の派遣について了解を得ました。

今後この方針での計画を推進しながら、医師不在日における看護師の処遇については現在検討中であり、宇和病院へ研修を兼ねての派遣も考えて

宇和体育館の夜間勤務がなくなったことによる市民の苦情は

特に問題はなく管理運営ができています。

八幡浜地区施設事務組合負担金事業の消防救急デジタル無線の設計に西予市の負担が320万円も必要なのか

西予市は実施設計費の14.9%を負担することになっており、実施設計だけで約2千152万円が必要のためです。なお、八幡浜地区施設事務組合の消防救急デジタル無線の総事業費が約12億円ということで、来年度から当初予算でその負担金も計上する予定です。

## 所管調査

今回、三瓶・明浜・宇和地区の関連施設を視察しました。

三瓶小学校は、東日本大震災の影響で新校舎の建設計画が延期されてますが、今後のスケジュールなどを考慮すると、春休み等を利用して仮設校

舎の早急な建設に取り組む必要があると思えます。

また、宇和給食センターは、鉄骨の老朽化や衛生面においても、設備の改善が求められるなど、今の施設を継続して使用するのには限界のようであり、1日でも早い改築計画が必要です。



老朽化が進む宇和給食センター

います。

財政調整基金残高が乏しいなか、本特別会計の今後の見通し

23年度についてはなんとか乗り切れる見込であるが、24年度以降については十分な見通しが立っておらず、今年度決算の状況によっては国保税の値上げも視野に入れて検討する必要があります。

介護認定調査は、どのように行っているのか

初めて認定を受けられる方へは申請受付後調査に伺い、主治医の意見書と併せて審査会に提出し介護度と有効期間を決定しています。

有効期限が近くなった方へは更新勧奨を行い更新申請受付後調査に伺っており、また、途中で状態が変わった方については区分変更の申請により改めて調査に伺っている。

なお、認定の有効期間は審査会の決定により一人ひとり異なっています。

城川を除く4上水道事業の水道料金検討委員会の経過は

昨年から検討委員会を重ねており今回、料金体系、基本水量及び基本料金については統一することを、超過料金については現状を基本にそれぞれ旧体系を引き継ぐ方針で協議しており、答申を受けて、早ければ9月、遅くとも12月の定例会には条例改正

の議案を上程いたします。

被災地への職員派遣の間は

派遣期間は5月14日から5月20日までの1週間で、宮城県石巻市北上地区へ野村病院副院長他看護師2名及び一般行政職員1名の計4名を派遣し、地区診療所及び避難所での診療のほか、一部在宅訪問診療による支援を行いました。

## その他

福祉バスの停留所は、時代の変遷(利用者のニーズ)に対応するには

地域公共交通総合連携計画でも検討されているところであり、できる限りの見直しを行います。



野村浄水場

# 林道新設地元負担率の軽減を 産業建設委員会

## 補正予算

農村環境保全向上活動支援事業の負担率は

白水観音水トウファ保全管理事業で高速道路歯長山トンネルの工事で水漏れが生じた補償は

15年間分の維持管理費を国土交通省が全額負担をする契約となっており、その契約は市が国と契約し、市は地元と契約します。

負担率は国が2分の1、県及び市が4分の1の負担で5年間実施し、事業内容は向こう5年間を累計した1年目の事業で、農業用水路・ため池施設等の補修、更新及び農道舗装をする事業です。



林道安尾線(城川)

## 請願

林業振興費の中の森林そ生緊急対策事業は

野村町2路線、宇和町1路線、城川町4路線の計7路線 8千25万円を計上しております。



白水観音水(宇和)

「南海地震による西予市野村町愛宕山公園の岩石崩落落下による災害防止の為の調査実施、岩石撤去に関する請願」

## 継続審査

現地調査をした結果、歴史的な経緯があり、また公園法など自然環境保全の立場からも慎重に検討



崩落の可能性がある愛宕山公園の岩(野村)

## 陳情

「市道愛宕山岩村線に於ける車の離合場所の設置を求める陳情」

## 継続審査

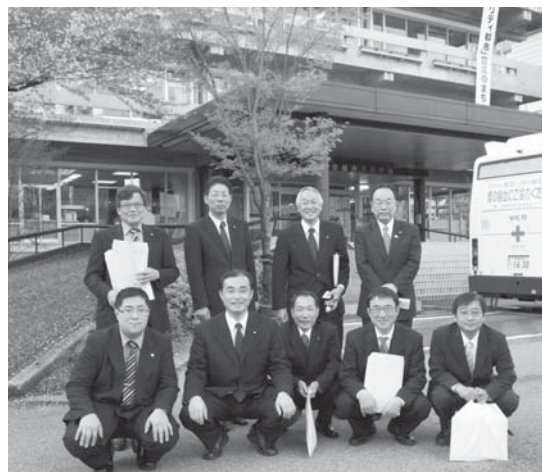
現地調査をした結果、狭隘であることは理解できているが、地主の了承が得られるよう地元で対応されたいことから

すべきことから

商工観光諸施設維持管理事業292万円は

重要伝統的建造物群保存地区の案内看板を西予市宇和インターチェンジ付近と愛媛新聞社前の国道56号線上にある看板を一部変更して設置します。

## 議会改革特別委員会



下呂市役所にて

特別委員会では、先進地視察・研修を4月19日から3日間の日程で実施いたしました。視察地を選定するに当たっては、早稲田大学マニフェスト研究所による、議会改革度調査ランキング表を参考にしました。

中心に、岐阜県下呂市議会、長野県伊那市議会を研修しました。研修の目的は、議会改革に対する議会の考え方、特に議員の定数・報酬等について、どのようなプロセスを経て改革を進めてこられたのかを学ぶためです。この地域では、名古屋市の河村市長が議員定数・報酬半分という条例案を可決したことなどの影響から、全国の中でも議員



松本市議会での研修

定数削減の動きには敏感で、人口3万6千900人で、議員定数16名でした。伊那市は人口約7万人であるのに対し、議員定数21名には正直驚きました。

定数削減の経緯については、区長会や地域連絡協議会、市民との議会報告会など通して、市民の声をなるべく吸い上げる機会を設け、議論を深めて来たということでした。市民から出てくる意見の中には、極端な意見や暴論もあったようですが、最終的には落ち着くところに落ち着いていきました。

## 新市立病院建設特別委員会



香川県立 白鳥病院玄関

特別委員会では、簡易公募型プロポーザル方式で、新市立病院の建設設計監理委託業者に株山下設計に決定し、同社設計の神戸赤十字病院を視察先に選定しました。また、病床数150床で22年5月開院の最新設備と医療を誇る、香川

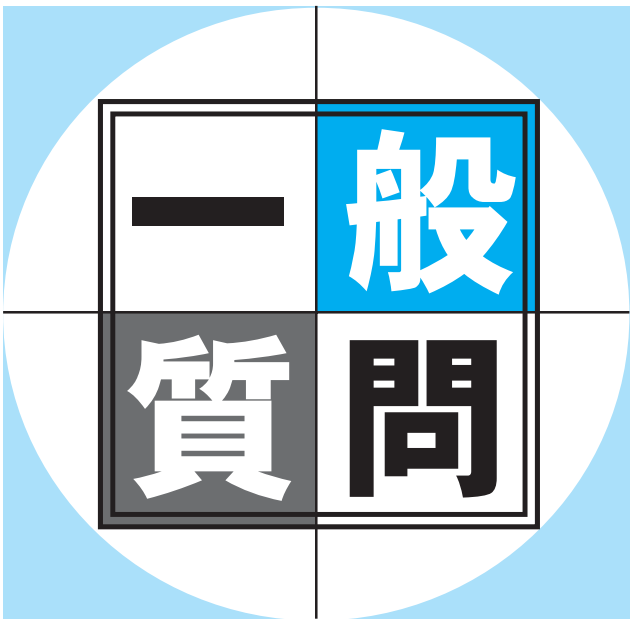
県立白鳥病院を5月17日、18日の2日の日程で実施しました。神戸赤十字病院は、免震構造を採用し、災害時には310床から500床に臨時増床を行い被災地からの患者を受け入れ、研修室、ホスピタルストリート等で診療が行えるように、医療ガスの配管を行うなど設備を整えていました。



神戸赤十字病院 屋上ヘリポート

香川県立白鳥病院は、診療科12科、職員は医師15名、看護師82名が配置されています。平日時間内は外来診療や入院治療だけでなく、夜間や休日などの時間外

においても、できる限り患者の診療に当たっています。特に循環器疾患や消化器疾患については、24時間体制での救急医療を行っているとの説明でした。今後は新市立病院を中心に地域医療の充実をはかり住民が将来にわたり安全に安心して暮らすことのできる地域社会の実現を図るため魅力ある病院作りに取り組んで行かなければならないと強く感じました。



# 津波：原発：防災計画：は



小野 正昭 議員

**問** 本庁、支所方式の移行に伴い、行政と議会は「車の両輪」とよく言われますが、二元代表制について伺いたい

**市長** 議決機関と執行機関のバランスがとれた二元代表制は、理にかなった制度であり、議

## 質問 二元代表制を問う

員各位の指摘や提言により地域住民の民意が十分に反映され、適正な市政運営の実現が出来ると思っております。

**問** 今回の県議会選挙で市内はもとより、特に三瓶町の投票率が低いが、その対策について

**選管** 単純に比較判断はできませんが、三瓶町内に一部の投票区で投票率の低調があり、こうしたデータの分析をいたし、より良い選挙制度の構築と効果的な選挙啓発、広報活動を展開し、投票率の向上を図ります。

**市長** 本年度中に、三瓶地区海岸部における津波一時避難場所指定を概ね完成させ、三瓶町の全世帯に避難場所を印刷したハザードマップを配布する計画で、今回の

**問** この30年以内で南海地震は、M8.1が70%、南海地震で、M8.4が60%の確率と云われているが、当市の防災体制、特に三瓶町の津波対策について

東日本大震災の結果を踏まえ、想定外の津波に対する対策が必要と考えています。

**問** 当市の原発事故に対する対応が十分でないと思うが、どのように考えているのか

**市長** 当市といたしても、これまでの基準や想定を越えた対策が必要と考えており、国県の基準や計画との整合性を



避難場所看板(明浜)



大竹 忠盛 議員

**問** 溜池の崩壊危険性の対応と地震発生後の上下水道被害対策について

**産建部長** 農業用ため池改修は、国の指針に基づき設計されています。今後、改修予定箇所は14箇所。震度5弱以上の地震時

## 質問 東日本大震災から学ぶ行政対応について

には、状況の把握、被害拡大防止に努めています。

**水道** ライフラインでありますが、下水道の処理施設・管路施設は、下水道耐震設計基準で設計、必要箇所については、土質試験を行い液状化についても検討しています。

水道は、非常時において、最低限の水の確保が必要

**問** 津波対策とハザードマップや組織活動の見直しについて

**総務部長** 東日本大震災の教訓を生かし、十分検証をしたうえで、津波ハザードマップの作成を行い、避難経路については、地域と連携、現状の把握確認を行い複数経路の設定、避難路の整備等安全対策を講じていきます。

**問** 四国電力に対して更なる原発の安全対策について

**総務部長** 四電は「耐震安全性が十分確保されている」という説明でありますが、想定を超えた様々な角度からの安全確認が必要であり、より詳細な説明と情報公開を求め、必要となる評価の見直しや、検証及び安全確保対策につ

**問** やる気を起こす意識改革について

**市長** このたびの新庁舎が、市行政運営の拠点として、市民に親しまれ愛される市役所となるため、職員が日々新たな心構えで業務に当るよう、今後も引き続き、研修育成に努めます。



酒井 宇之吉 議員

**問** 成年後見制度について西予市の現状は

**副市長** 当市におきましては、成年被後見人に該当されている方が現在概ね30名程おられますが、成年後見制度の対応が必要な方の正確な人

## 質問 防災マップづくりは地域で

数の把握は困難と考えております。今後は市民のニーズ、時代の要請に応じた組織づくりに努め障害を持たれた方も、安心して生活できる社会づくりの実現に努力します。

**問** 金婚の節目を表現してはどうでしょうか

**福祉部長** 市として表彰状を贈呈することは世論やプライバシー等の問題もあり慎重な判断を要します。老人クラブ等推薦など、婚姻関係の客観的な事実・本人の意思確認が可能であれば、関係課で協議し前向きに取り組みたい。



避難訓練(俵津地区)

**問** 地域防災計画の見直しは

**総務部長** 地域防災計画に基づく防災体制の整備については、今回の震災を教訓とした地震津波対策に関する専門調査会が設置され防災基本計画の見直し・修正が行われる見込みで、市においても地域防災計画の見直し改定等の作業を進めた

**問** 27の地域で自らの防災マップづくりは

**総務部長** せいの地域づくりの地域は自分たちの手で、を基本理念としており、この交付金で地域の防災対策、避難体制の中で防災マップ等の作成については協議いただくことは有意義と考えます。



松島 義幸 議員

### 質問 超高齢社会対策は

**問** 超高齢社会に向けた地域福祉及び地域産業対策の進め方は

**福祉部長** 介護保険制度や高齢者福祉施策により高齢者が安心して生活できるように努めています。介護保険制度は、国の見直しが行われており、主

を講じたい。  
**問** 超高齢・核家族化地域社会に向けて、10年後の柑橘栽培農業対策は

**市長** 西予市では、農業経営の強化の促進に関する基本的構想を策定し、将来(概ね10年後)の農業経営の発展の目標を定め、効率的かつ安定的な農業経営を育成することとしています。

補助事業導入により、農地利用集積円滑化事業等を西予市、JA、法人等、地域全体で積極的に取り組み、農地の流動化を図り、経営規模拡大の実現が重要となってくることから、このような取り組みに対し積極的に支援を行いたいと考えています。

果や収穫作業の営農支援を行うこの事業を後押しして、今後益々増加が見込まれる高齢柑橘栽培農家への支援を行いたい。



高齢化に伴う共同作業



二宮 一朗 議員

### 質問 被災者支援システムについて

**問** 今回の震災で、災害時に災害時に住民

本位の行政サービスが提供される体制づくりを進める必要性が高まっている。そのために阪神・淡路大震災の教訓と実践に裏打ちされた同システムを平時に導入・運用すべきでは

**総務部長** 本システムを利用することにより、避難情報の把握や、救済物資の管理、被災者証明や家屋罹災証明の発行など、災害時に必要な行政業務を円滑・スピーディに処理することができ、利便性、導入経費、活用方法を調査研究します。

**問** 津波対策として、避難の目安、例えば海拔5mの高さを示す津波標識を電柱などに設置してはどうか

**総務部長** 避難の目安として津浪一時避難場所の標識を、明浜で39カ所、三瓶町で6ヶ所設置してい



宇和島市の津波標識

るが、平成23年度中には、三瓶町の海岸部全てにおいて、津浪一時避難場所の標識を設置する予定です。

**問** 現在66の自主防災組織が設置をされ、組織設置率は97.4%だが、現実的に機能している組織は非常に少なく、今回のような災害時において組織としての機能が発揮できるとは思えない。行政としての今後の方向性は

**総務部長** 各防災組織の地域特性や条件に沿った、個別のわかりやすい避難計画、災害対応マニュアル等の作成を目指す。にも、中心となって活動をリードしていただけるリーダーの育成、また自主防災組織間の連絡、情報交換の場を設けるなどにより、お互いに危険意識を共有しながら、自主的かつ積極的な活動につながるよう、体制の強化を図ります。



元親 孝志 議員

### 質問 IP告知システムの導入を

**問** 福島第1原子力発電所の事故を目的の当りにして、安全なエネルギーの確保が喫緊の課題となった。西予市においてはこれを先取りする形で、新庁舎内の1階部分の冷暖房設備は、バイオマスペレットを燃料とする仕組になっている。

**市長** 木質ペレット等を燃料とする設備が約6千500万円、電気エアコンだと3千400万円、ランニング

1階部分の冷暖房設備は、初期投資、ランニングコストはいくらか。また市としてどこまで自然エネルギーに特化した政策を推進される計画か

コストは木質ペレット約300万円、電気エアコン280万円です。今後の計画については国のエネルギー政策の動向を注視しながら、単純な経費面だけで捉えるのではなく、多面的な評価の中で、総合的な取組ができるよう前向きに考えています。



機能が充実しているIP告知

**問** 野村町では防災行政無線について、難聴地域の苦情が今後も後を絶たない。防災行政無線は、光ケーブルを使って、IP告知システムにする計画は無いのか

**総務部長** 本市の世帯構成や地形を考慮するとコスト、リスク、運用などにおいて、防災行政無線による、全世帯を対象とした災害情報提供が優位であると考えています。

**問** 想定される東南海・南海地震に対して、野村ダム・鹿野川ダム周辺の安全確保は調査・研究されているのか

**産建部長** 野村町栗木川平地区及び、坂石地区のいずれも国土交通省の調査では、地滑りの兆候はないとの報告でした。今後、引き続き両地区において、継続観測を実施して参ります。

## 被災地復興へ願いを込めて



### チャリティーへ参加しました!

西予市議会議員会では6月5日三瓶町「みかめチャリティー実行会」主催の第10回チャリティーレクバレーに参加しました。

今年、3月11日に起こった東日本大震災の被災者や被災地へ「東北がんばれ」の思いを込めて熱戦が繰り広げられ、22試合で集まった義援金7万280円



三瓶小体育館にて

を『日本赤十字社』に寄付をされました。なお、この大会は10回目を区切りに最後の大会にされることでした。主催者の皆様大変におつかれさまでした。

議員チームは、ボランティア精神で珍プレーの連続ながら2試合で5千190円を貢献し、最後の大会で優勝しました。また、7月3日には、宇和町「ボランティアアグリプDo」主催の第21回チャリティーレクバレー大会にも参加しました。



宇和町小体育館にて





伊方原発の全景

ウラン燃料を使っている現在の原子力発電所でも、プルトニウムは発電の途中で生まれ、発電量の約30%はプルトニウムによるものです。プルサーマルでは、最初からプルトニウムが含まれた燃料を使うことにより、この割合が約50%となります。

### プルサーマルの利点

### 何故プルサーマルは必要ですか

ウラン燃料は石油や石炭などの燃料と違って、リサイクルできます。消費されなかったウランや発電中に生じたプルトニウムを再処理工場で分離・回収して利用する流れを「原子燃料サイクル」と呼んでいます。

原子燃料サイクルを完成させ、ウラン燃料をリサイクルすることで、ウラン資源を有効利用することができま

### 原発と原爆の違い

原子力発電と原子爆弾は、ウランを使うことは同じですが、エネルギーをとり出すしくみが全く違ってきます。

★天然ウランは、燃える核

原子力発電所の重要な設備を変更する時は、原子炉等規制法に基づき、安全性などについて、国による厳正な審査が行われます。伊方発電所3号機のプルサーマル計画については、最新の知見をもとに約1年半にわたり審査され、2006年3月28日国が許可しました。

### 国はどうですか

### 外国では

海外では40年以上も前からプルサーマルが行われ、これまで約6千体のMOX燃料が安全に使われています。

## 伊方原発の基礎知識と基礎用語

# 福島第一原子力発電所事故を教訓に 原子力発電所の必要性・安全性・将来性を学ぶ

# 伊方原発を知る

記事は伊方原発公表資料から抜粋

福島第一原子力発電所の事故を機に、国内外において原子力発電所に対する危機感がにわかにかままりました。原子力発電は『絶対安全』という神話が崩壊した今、私たちは原子力発電とどう向き合えばいいのか。伊方原子力発電所を20km圏内に持つ西予市としても、対岸の火事では済まされなくなりました。市議会においては、これらのことを鑑み、伊方原子力発電所の安全性、福島第一発電所の事故後の対応状況等について視察を行いました。

	定格電気出力	原子炉	燃料	冷却海水量	建設開始	運転開始
1号機	56万6千kw	加圧水型軽水炉(2ループ)	低濃縮二酸化ウラン	約38m <sup>3</sup> /秒	1973年6月	1977年9月(34年経過)
2号機	同上	同上	同上	同上	1978年2月	1982年3月
3号機	89万kw	加圧水型軽水炉(3ループ)	低濃縮二酸化ウラン・プルトニウム混合酸化物	約65m <sup>3</sup> /秒	1986年11月	1994年12月(17年経過)

### 放射線とは

懐中電灯に例えると、光が放射線、光を出す能力が放射能、そして懐中電灯が放射性物質にあたります。

### 放射線の種類と透過力

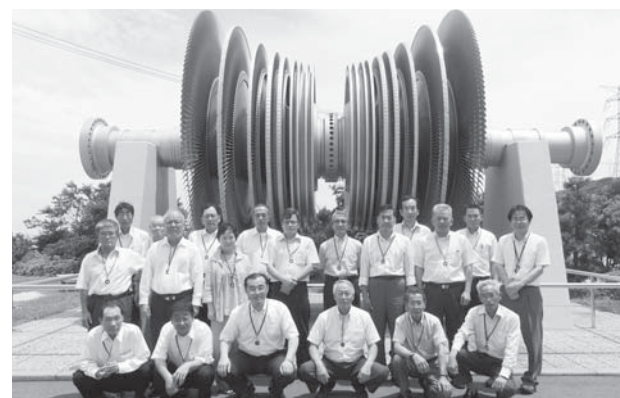
放射線にはアルファ(α)線、ベータ(β)線、ガンマ(γ)線、エックス(X)線、中性子線など、いろいろな種類があり、種類によって透過力に差があります。

ます。たった1枚の紙キレで止まる放射線もあれば、鉛や厚い鉄板でないと止まらないものもあります。中性子線は鉛や鉄ではなく、水やコンクリートの壁で止まります。

### プルサーマルとは

原子力発電で使い終わった燃料の中には、まだ燃料として使用できるウランやプルトニウムが残っています。

プルサーマルとはそのプルトニウムを取り出して新しい燃料(MOX燃料)を作り、現在の原子力発電所で再利用することです。簡単に言えばウラン燃料のリサイクルです。



議会の視察研修(6/22日)

### 宇和の20km圏内

原発から半径20キロメートルが警戒区域になったことから、伊方原発から10キロ以上20キロ未満となる、西予市宇和町の一部地域で、四国電力は初めて伊方原発の安全対策について訪問活動を始めました。西予市内では約6千戸が対象となります。

### 原発の是非

早急に結論の出る話ではないが、安全性、必要性、代替電力の確保等を考慮しながら、議会として慎重に検討を進めてまいります。



伊方原発の議員研修

# 議会改革特別委員会始動

## 果たして政治は失った信頼を取り戻せるか？

### 議会改革の必要性

市議会では昨年の12月定例会で、議会改革特別委員会を立ち上げ、現在精力的に議会改革に取り組んでいます。議会改革の動きは、既に全国的な流れとなつています。その理由は、今のままの議会であれば、議会不要論即ち「議会は果たして必要なのか」という市民の意見に危機感を持った地方議会が、改革に向けて動き始めました。

### 議会基本条例とは

議会の憲法ともいうべき基本条例の制定は、全国から視察・研修に訪れる議会があつたを絶たず、条例制定をする議会が一気に広まりました。

### 地方分権とは

平成12年に地方分権推進一括法が制定されて以



目から鱗の行政視察(岐阜県下呂市議会)

### 試される議会の力

来、民主党政権になつてさらに進化して、地域主権といわれる時代を迎えました。国の下請け行政といわれた時代から、自主・自立の時代になりました。地域のことは、自己責任において、自らが決めて

### 調査項目は

- ① 議員定数
- ② 議員報酬
- ③ 議会基本条例
- ④ 政治倫理条例
- ⑤ 議長の任期(現1年)
- ⑥ 委員会の任期(現1年)
- ⑦ 情報公開
- ⑧ 一問一答制の導入
- ⑨ 申し合せ事項の検討

### 9月に議員定数決定

議員の定数と報酬については、立候補を検討されている方々の予定もあることから、遅くとも9月定例会までには、議会としての結論が出せるよう、調査研究を積極的に進めています。そのため先進地視察、パブリックコメント、5町の地域審議委員会にも出席をさせていたが、市民の



伊那市議会議場にて

皆様の意見を聞かせていただきました。これらの意見を参考にさせていただきながら、市民の皆様にも説明責任が果たせる結論を出したいと考えています。

なおこれらの調査項目に対して、御意見がありましたら遠慮なく、意見提言をしていただきますようお願い致します。

## 元気に「せいよ」豊かに「西予」

藤井 朝廣



私は18歳の時に今治の前の大島、当時の越智郡宮窪町から児童を頼って宇和町に参りました。当時は親戚はなく、当然同級生もいなく4・5年は寂しい思いをしました。唯一の楽しみは月に一度の榮座の映画を観ることでした。宇和町にきて、最初に驚いた事は川に鯉が泳いでいる事と、島ではほとんど見られない雪が1メートル近くも積もる事でした。地域が違えばこんなにも違うものなのかと驚いたものです。振り返りますとあれからも44年が経ちました。私にとりまして楽しい思い出のひとつであります。宇和町に来て本当によか

ったなとつくづく思いま

すし感謝もしています。

今では素晴らしい沢山の先輩や後輩の友人に支えられています。私のようなものに時期的には遅いと言われながらも市議会に立候補を勧めて頂いた方達にはたいへんだったと思います。西予市の有権者の方達から900票という多くの票を頂きました。ありがたい事と感謝しています。

私の思い・キャッチフレーズは、  
元気に「せいよ」豊かに「西予」  
であります。

私は議員経験も浅いですが、人並み以上の能力もありませんが、行政も企業も家庭も考え方によれば同じだと思つています。西予市も風習も文化も違う5つの町が合併して8年目に入りました。行政では職員、企業では

社員、家庭では家族が知恵を出してきたからこそ5町の合併がうまく出来たと思います。

私は小さな企業ですが経営の経験があります。行政も無駄は省き、新規事業があれば他の市町村よりも早く情報を入力して手がけるべきだと思います。

合併後は市長の英断で発注工事や物品は殆ど市内で消費するようになりまし。次世代を担う若者が、西予に定住したいと思うようになる為にも、働く場所の提供が欠かせません。何日か前に宇和島の友人に西予の職員の対応の良さを褒めて頂き嬉しくなりました。みんな頑張っています。

# 自由発言

先日、中学校の同級会で東京・日光方面に旅行に行きました。それぞれの人生を歩んで65歳になつていました。ご主人が何週間前に亡くなられた方も参加しており、メタボがあり、ひざの悪い人



## 「人生の節目を考える」

酒井 宇之吉

あり、落語の勉強している人ありで、家族のことなど語り合ったり、楽しく懐かしく過ごすことができました。恩師の河野一男先生と生きているうち(どちらかわからない)に一升瓶を抱えて飲み交わしたいからと依頼されたのは九州大学の名誉教授の友でした。昨年亡くなった弁護士だった友親戚でもあった、愛媛銀行の取締役だった友、そしてそれぞれの都合で同行できなかつた友、一人一人の思いと顔を想い出しながらの2泊3日でした。しかし楽しい中でも至る所で東日本大震災の影響が出ており、心が痛む旅行でした。日光東照宮での観光バスは私達の1台のみで鬼怒川のホテルでも営業を休んでいるホテルが多数ありました。

「この国はどうなるのだろう」と切実な不安を感じた旅でした。綱引き合戦、陣取り合いの政治を垣間見る時、議員としての我が身のあり方を考えざる得ませんでした。少子・高齢化時代の中、西予市は、明浜はどうなるのだろうか。同級生100人余の私達の時代と現在10人程度で高齢化率45%の地域の現実を考える時、どのような行動をしなければならぬのだろうか、自問自答している毎日です。続けているラジオ体操で健康を保ち、日々、月々立てている目標に向かって努力し、市民との対話を少しでも多くすることを一歩としてと改めて考えています。『友は我が身を写す鏡かな』生まれて死ぬまでいつしよの同級生との旅行を65歳の人生の節目として再出発です。